

一 解答

- 問一 ① 訳（す） ② 奏（でる） ③ 操（る） ④ 議事録 ⑤ 防砂林
問二 ① エ ② イ ③ エ ④ イ ⑤ イ
問三 ① ような ② たとえ ③ もし ④ ぜひ ⑤ まさか

二

- 問一 (1) なぜって (2) ウ
問二 I イ II エ III ウ IV オ
問三 生きていることが素晴らしいと思ったりしている（ということ。）
問四 「自分が思う」ということ
問五 ア 一緒に生きている イ 自分ばかり ウ 他人のことを思う
問六 自分が思う以外に思うことはできないこと。
問七 ア 自分が思うなんてこと イ 気にしたこと ウ 当たり前 エ よくわかっていなかった
問八 ア
問九 ウ
問十 ア ○ イ × ウ × エ ○

三

- 問一 エ
問二 ア
問三 (1) 自分に都合の悪い事を消すもの。 (2) ちっぽけな自分の姿
問四 (1) エ (2) ア 隣のレーンのやつ イ 応援の生徒たち ウ ファイト
問五 福岡の走り出しがいつものタイミングより少し早く、振り切られそうだと思ったから。
問六 長距離走に向いていたこと。
問七 ア すごいランナー イ トレーニングの効果 ウ 速く走れるかもしれない
問八 消しゴム
問九 ウ

二 解説

- 問九 最終段落の内容をおさえます。考えると悩むとは違い、それがどういことなのか考えてわかっていなければ、どうすればいいのか方法がわからずに悩むのは当然である、ということが述べられています。理由として最も適当なものは選択肢ウであることがわかります。
問十 本文全体で、生きていることが素晴らしいかつまらないかということとは、自分がどう思っているか次第であると述べているので、選択肢アは○となります。本文後半には、わからないから悩むのではなくて考えるべきなんじゃないか、という主張が述べられ選択肢エも○です。選択肢イ、ウのは本文の内容と合いません。

三

- 問一 傍線①の後にある「校庭みたいに土じゃなくて、ゴムで出来ているんだって。開会式に並ぶときにさわってみた。」という記述から、学校の校庭とは違い、圧倒されているという記述を含む選択肢エが最も適当です。
問五 リレー・ゾーンにはいり、福岡が走り出しバトンを渡すまでの間の描写から、タイミングが少し早い点をおさえつつまとめます。
問八 本文後半には、長距離走に向いていた自分に気づき、ちっぽけな自分ではなくなっている多くの様子が描かれています。そんな自分にいまのところは満足している様子がうかがえ、都合の悪いものを消すものである「消しゴム」は、いらない。ということが表現されています。